DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 ６５２９

レジガードボンドSD

１．一般名　エポキシ樹脂パテ・含浸接着剤

２．規格　社内規格

３．特徴
１）ビニロン及びナイロンメッシュシートに対する含浸性にすぐれている。
２）コンクリートおよび上塗との相互接着性にすぐれている。
３）耐酸性、耐アルカリ性及び物理特性にすぐれている。
４）ＮＥＴＩＳ登録番号：ＫＴ－１２００７９－ＶＲ（省工程はく落防止工法『レジガードSD工法』）

４．塗料性状

項　目		内　容			
容姿		2液性			
荷姿		9kgｾｯﾄ（主剤：6.0kg、硬化剤：3.0kg）			
色相		クリーム			
光沢		つや消し			
密度(23℃)	硬化物	1.3			
	揮発分	―			
加熱残分		100%（理論値）			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	―	―	―	―
	半硬化	24時間	10時間	6時間	5時間
標準膜厚		―			
引火点		ＳＤＳ参照			
発火点		ＳＤＳ参照			
爆発限界(下限~上限)		ＳＤＳ参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

５．塗装基準

項　目		内　容			
下地処理		ブラスト又はワイヤーブラシ処理			
調合法		主剤：100部、硬化剤：50部（重量比）			
可使時間		5℃	20℃	30℃	40℃
		120分	60分	30分	20分
洗浄シンナー		レジガードシンナーＡ			
施工法	施工方法	ヘラ塗り、ローラー塗り、コテ塗り			
	希釈率	―			
	標準使用量	0.8～1.40kg/㎡ ※			
	標準膜厚	―			
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	―			
施工間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	16時間	10時間	8時間
	最大	7日	7日	7日	7日

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。
※はく落対策工法に使用される場合の標準使用量は 1.1～1.4kg となります。

６．施工上の注意

(1)コンクリート面のレイタンス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
(2)使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に撹拌して均一な状態にする。混合比を間違うと十分に性能を発揮しないばかりか、硬化しないことがある。
(3)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ材料はシンナーを加えても使用できない。
(4)施工間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了する。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
(5)施工終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナーＡで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
(6)施工後短時間内に雨に当たると硬化物が白変する恐れがあるので注意する。

７．関連法則

	主　剤	硬　化　剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	―	―
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	―	ｲｿﾎﾛﾝｼﾞｱﾐﾝ　8.2

８．使用上の注意［警告］

(1)安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2023.06

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。